【散布地区に全戸配布しています】

浜中町では平成３１年度からすべての地区で「コミュニティースクール」が始まります。これを受けて散布では１２月と２月に準備会を開催しましたので、「コミュニティースクールはどんなものなのか？」「組織は？」「何をするの？」について散布地区の皆様にお知らせいたします。

Ｑ１、コミュニティースクールとは？

簡単に言うと「地域と学校が更に協力して、子どもの成長を目指す。学校応援団を作る。」そして「コミュニティースクールの活動を通じて地域が元気になる。」取り組みです。散布はすでに強力な学校を支える活動が有りますが、内容を学校と一緒に考えて魅力ある学校を目指します。

Ｑ２、組織は？

地域の中に「散布地区学校運営協議会」を作ります。
会長や、事務局長、事務局員等、散布の各自治会からメンバーに加わってもらって準備し、散布の全住民にできる範囲での協力をお願いします。
学校からは校長が入り、散布小中学校の教育の説明などを行います。

Ｑ３、活動内容は？

スタートにあたっては、漁業の地区で昆布漁が天候に左右されることを考慮し、「無理せずに子どもと地域のためになること」を計画しています。
①防災の活動　②散布の自然や歴史・漁業などの検定「散布検定」
③学校で今年から始めた大感謝祭を支える取り組みなど。
まずは、事務局で準備を進め、昆布漁前に内容を決めてお知らせします。

第１回散布コミュニティースクール
学校運営協議会のご案内
と　き　４月１７日（水）
　　　　１８：３０～
ところ　散布小中学校２Ｆホール
内　容　活動内容について
参加対象　会長・事務局長・事務局員
　散布漁協・各自治会長
　漁協青年部からもお願いします

４月に正式にスタートします。内容や日時が決まりましたら散布の皆様にお知らせいたしますので、都合が合えばご協力をよろしくお願いします。
問い合わせは６７－２３３４中村校長

散布小中学校

平成３１年度から３年間にわたって、散布小中学校が「海洋教育パイオニアスクール」の指定を受けることになりました。海洋に囲まれた日本で「海」に関わる教育活動を推進することで将来の地域を支える人材を育成しようとする事業です。

主催は「海洋政策研究財団」「東京大学海洋アライアンス海洋教育推進研究センター」「笹川平和財団海洋政策研究所」で、文部科学省が後援です。助成金として毎年補助があり、あさり島活動や水産室の充実など有効に活用する予定です。

「海洋教育」について学び、話し合い、まとめて発表する活動は将来どんな職業や地域にいても応用できる力になります。散布地区にある「素晴らしい素材」を掘り起こして、発信する活動を先進的に進めて行きます。

コミュニティースクールとともに、「地域の良さを発見し」「人のつながりを広げ」変化の激しいこれからの時代に大きな力を発揮するきっかけを作って行きたいと思います。

地域からのアイディアは大歓迎ですので、遠慮なく学校までいらして下さい。よろしくお願いします。

校長　中村　研自